

環境とともに



ワタミグループはエコ・ファースト企業です。

ワタミグループでは、環境宣言「美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく」を実現するため、環境(エコロジー)と経済(エコノミー)の両立(W-ECO)を目指し、環境活動を実践しています。2010年5月には、過去の取り組みの評価と今後への期待から、環境省より「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。環境保全活動に取り組むことはワタミグループの責務と考え、より一層の貢献を目指します。

2012年2月に竣工予定の風車と同規模のもの

主な取り組み		2010年度目標	2010年度結果	評価	2011年度目標	2012年度目標 (エコ・ファーストの約束)	2020年度目標 (W-ECOビジョン)
環境への取り組み	エコ・ファースト・テーマ1 事業活動での削減	グループCO ₂ 排出量削減 (2008年度比)	5%削減	6%削減 (3月単月)	○	11%削減	15%削減
	エコ・ファースト・テーマ2 環境改善事業の強化	ISO14001	全事業取得	全事業取得	○	全事業取得	継続
	エコ・ファースト・テーマ3 社員行動での削減	社員の生活によるCO ₂ 排出量削減	5%(*1)	0%	×	5% (2008年度比)	10% (2008年度比)
	エコ・ファースト・テーマ4 環境保全活動の応援	ワタミの森の活動拡大	モデル構築	体制整備	×	再生モデル構築	50ha
環境貢献活動	ブラックイルミネーション キャンペーン	参加	「屋も。夜も。節電 ライトダウン 2011」に参加	○	キャンペーン 参加	参加	参加
	NPO法人RFLへの支援	ボランティア 参加900人	100人	×	ボランティア 参加1,500人	-	-

○達成、×未達成、一該当なし
(*1)2010年度の目標は日本人のCO₂排出量の平均値に対して5%削減と設定しました。

環境活動の歴史

ワタミグループのこれまでの主な環境活動

ワタミグループでは、1999年の外食産業初のISO14001取得以来、環境宣言「美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく」のもと、様々な環境保全活動を行ってきました。

環境宣言を実現させるための長期な目標として、2009年10月「W-ECOビジョン2020」(2020年グループ環境負荷(CO₂)を50%削減(2008年度比、売上高当たり))を掲げました。さらに「エコ・ファースト企業」に認定されたことから、2012年までの社会に対する必達目標として、「エコ・ファーストの約束」を宣言しています(環境負荷を15%削減など)。

■環境活動年表

1999年	外食産業初ISO14001認証取得
2000年	「ワタミ環境宣言」
2002年	リサイクルセンター設立 首都圏リサイクル開始
2003年	首都圏200店舗に生ゴミ処理機導入
2004年	WEM(ワタミエネルギー・マネジメント)システム導入
2006年	森づくり活動の開始
2007年	NPO法人「Return to Forest Life」設立
2008年	「環境宣言2008」掲出
2008年	「W-ECOビジョン2013」策定
2009年	LED照明導入店舗のOPEN
2009年	日本酒ビンリユースの開始(首都圏400店)
2009年	「W-ECOビジョン2020」策定
2010年	環境省「エコ・ファースト企業」認定
2010年	社員の環境負荷削減のための「エコ夢カード」発行
2010年	環境省・農林水産省認定「リサイクルループ」をスタート
2011年	エコ介護施設がオープン

CO₂削減を目指して

ISO14001 認証を全事業で取得

2011年6月、新しい環境推進体制となって、初めての更新審査を受けました。事業の成長とともに審査を受ける拠点が増えていますが、重大な指摘事項もなく、更新することができました。

■節電の取り組み

「夏の節電についてのエコ・ファーストの約束」を宣言

ワタミグループは、2011年5月、環境省において開催された「エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束の会」において、2011年夏の電力需給の逼迫を計画停電なしに乗り切るための取り組みを盛り上げていくことを目的に、2011年夏の節電の取り組みを公表し目標を約束しました。

「2011年夏の節電についてのエコ・ファーストの約束」の中で、ワタミグループは、夏の最大電力を削減すべく取り組みを進め、節電に努めることを宣言しました。(主な取り組みについては、表を参照)

約束した内容については、結果を報告させていただきます。

■電力対策

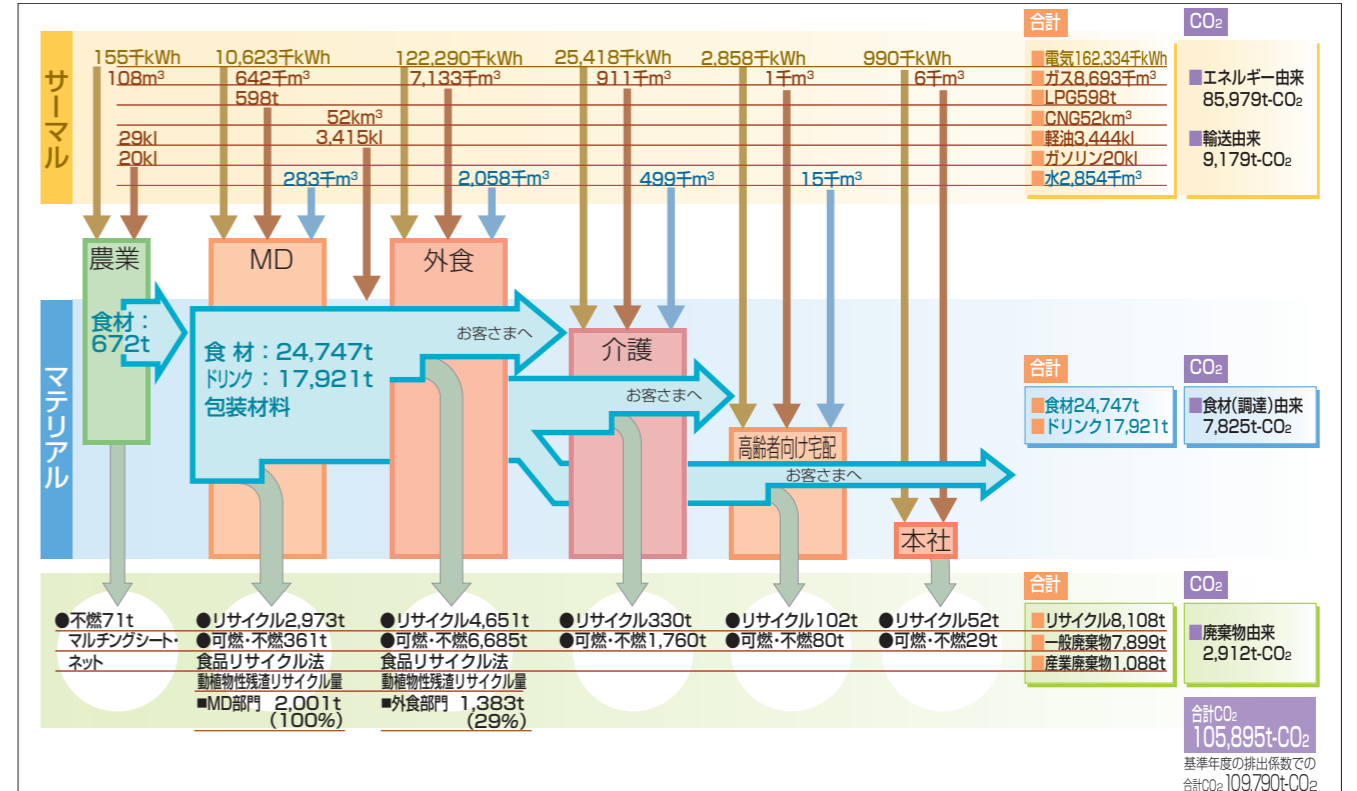
外食店舗	エアコン温度を+1℃ ジョッキクーラーの日中電源 OFF
介護施設	不使用室のエアコン・照明 OFF 白熱球を蛍光球に順次交換
ワタミ手づくり厨房	人感センサーの導入 非製造室のエアコン温度を+1℃
本社	全館キャノピースイッチ導入 エレベーターの使用を制限

環境への取り組みのための第一歩～現状把握～

ワタミグループの環境負荷(2020年度までにCO₂50%削減)

ワタミグループ全事業(外食、介護、高齢者向け宅配、MD、農業、環境・メンテナンス)の2010年度の環境負荷は下図の通りです。この環境負荷を2020年度までに50%削減(2008年度比、売上高当たり)エコ・ファーストでは、ベンチマークとして2012年までに15%削減を約束しています。

■ワタミ マテリアル&サーマル・フロー



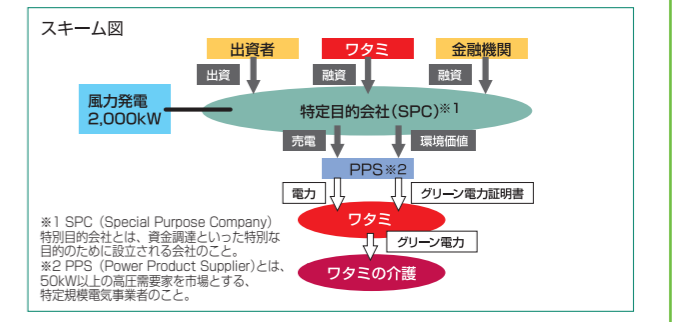
【注意書き】①CO₂の排出係数は次の通り設定しています。(※1:毎年度変更となる数値です。努力値を見るために、基準年度である2008年度の排出係数を用いて算出した数値も掲載しています。2010年度算出係数) ●電気量:0.3863(kg-CO₂/kWh) ●都市ガス:2.28(kg-CO₂/m³) ●水:0.58(kg-CO₂/m³) ●一般廃棄物:0.0175(kg-CO₂/kg) ●産業廃棄物:2.55(kg-CO₂/kg) ●2008年度の排出係数を用いて算出した数値も掲載しています。2010年度算出係数(※2:2008年度算出係数) ●電気量:0.421(kg-CO₂/kWh) ●都市ガス:2.08(kg-CO₂/m³) ●水:0.58(kg-CO₂/m³) ②表記の数値は、年間総計を示しています(2010年4月1日～2011年3月31日)。③外食店舗における投入量(INPUT)は、下記の方法により算出しています。●エネルギー由来●電気:WEM(ワタミエネルギー・マネジメント)導入店舗(274店舗)の平均単価(円/kWh)を用いて、経理支払い金額(円)を算出しています。●ガス:320店舗の検針数値(m³/店舗)を用いて、店舗数を乗じて算出しています。●水道:請求書から399店舗の平均単価(円/店舗)を用いて、店舗数を乗じて算出しています。●輸送由来:対象範囲は農業→MD、MD→外食店舗・介護施設・高齢者向け宅配事業営業所としています。●食材(調達)由来:主たる食材である肉類の国内外比率を代表数値として用い、全使用食材の総量を案分した数値に移動距離を乗じて算出しています。④外食店舗における排出量(OUTPUT)は、2009年度の定期計量数値の平均を使用しています。⑤介護施設における排出量は10年度の平均排出量(kg/人)を用いて、ご入居者様数を乗じて算出しています。⑥高齢者向け宅配事業の食品製造工場は今年度よりMDに移管しているためMDの数値に含まれます。

トピックス

ワタミグループは風力発電事業に参入します

ワタミグループは、日本で停滞している再生可能エネルギーの普及促進に寄与すること、グループのCO₂削減を目的として、風力発電事業に参入します。市民風力発電プロジェクトにワタミグループより資金を拠出し風車建設を支援し、2012年2月に竣工予定の風車(秋田県にかほ市)による電力と環境価値を購入します。今回のスキームの最大の特徴は、風車が発電する電力と生み出される環境価値(CO₂削減)をすべてワタミグループで購入することであり、これは日本では初めての取り組みです。現在計画されている風車の出力は2,000kWであり、ワタミグループ全体の電力使用量の約3%に相当します。環境価値としては、ワタミグループの事業活動によって排出されるCO₂を2%削減することになります。今回購入する電力は、ワタミの介護施設で使用予定です。今回の風力発電事業の取り組みにより、ワタミグループで使用す

るすべての電力を自然エネルギーに転換していくことを目指していきます。今後とも、ワタミグループは地球上で事業活動を営む企業の責任として、より一層の地球環境負荷低減を推進していきます。



各事業での環境活動の展開

ワタミグループ各社の環境活動

ワタミグループでは、各事業ごとに様々な環境活動を実施しています。2011年度は、これらの活動のさらなる推進を行い「W-ECOビジョン2020」、「エコ・ファーストの約束」の達成を目指してまいります。

テーマ	活動内容	外食	介護	高齢者向け宅配	MD	農業	環境・メンテナンス
エコ・ファースト テーマ1 事業活動でのCO ₂ 削減	新規外食店舗・介護施設へのLED照明の導入(1)	○	○				
	環境配慮型介護施設建設(2)		○				
	モデル外食店舗(3)・介護施設での削減プログラムスタート	○	○				
	ロス率削減	○			○		
エコ・ファースト テーマ2 環境改善事業の強化	日本酒空きビンのリユース(4)	○					○
	本格的なリサイクルループスタート(4)	○					○
エコ・ファースト テーマ3 社員行動でのCO ₂ 削減	エコキャップ活動	○	○	○	○	○	○
	エコ夢カード配布(5)(6)	○	○	○	○	○	○
	本社ビルキャノピースイッチ導入(7)	○	○	○	○	○	○
エコ・ファースト テーマ4 環境保全活動の応援	ワタミの森の活動	○	○	○	○	○	○
	ブラックイルミネーションキャンペーン参加(8)	○	○	○	○	○	○
	アースデイ2011参加					○	
	カーボンオフセットカクテルの導入(9)	○					

エコ・ファースト テーマ1 事業活動でのCO₂削減

活動内容(1)

外食店舗でのLED照明利用拡大

2009年度のT.G.I.F.J国内全店舗へのLED照明導入に引き続き、2011年3月、語らい処「坐・和民」国内188店舗にてLED照明の導入を完了しました。これにより、従来照明による電気使用量の約90%を削減、LED導入店舗全電気使用量の6%に相当する2,403t-CO₂の削減を計画しています。

今回のLED照明導入に際しては、昭和リース株式会社様がエネルギー使用量削減を保証し、削減したエネルギーコストから報酬を得るESCO方式(※1)を採用しています。

(※1)ESCOとは、Energy Service Companyの略。工場、オフィスビルや商業施設などに対して、エネルギー効率の改善策を提案、エネルギー削減効果を保証し、削減したエネルギーコストから報酬を得る事業。

活動内容(2)

環境配慮型介護施設がオープン

ワタミの介護は、2011年9月、ワタミの介護初の環境に配慮した介護施設として、「レストヴィラ弁天町」を大阪市にオープンしました。CO₂削減のため、屋上には庭園、農園、太陽光パネルを設置しました。また、吹き抜けの中庭を設けた他、介護施設内ではLED照明を積極的に採用、ワタミカフェの壁にはワタミの森の間伐材を利用し、リビングダイニングにはベレットストーブを導入しました。

今後は弁天町での取り組みを踏まえ、環境配慮型介護施設を展開していく予定です。



レストヴィラ弁天町外観

活動内容(3)

エネルギーマネジメントシステムの活用

外食店舗の使用電力を一元管理するモニター機器(いつ・どこで・どのくらい電気が使われているのかを計測する電力監視システム)を2011年3月現在で274店舗に導入しています。2009年までは、営業時間外のムダ電気を削減するために活用していましたが、2010年度から営業時間中のムダ電気の削減にも活用を始めました。ムダ電気削減により、2011年度、CO₂11%削減(2008年度比、累計)を目指します。

エコ・ファースト テーマ2 環境改善事業の強化

活動内容(4)

日本酒空きビンのリユース・本格的なリサイクルループの開始

2009年10月より、ビン廃棄量を抑制するため、日本酒の空きビンリユースに取り組んでいます。リユースはリサイクルよりも使用されるエネルギーが小さく環境問題へのインパクトが大きいことから、対象エリア、ビンの種類の拡大を計画中です。

また、2010年6月からは、外食店舗から排出された生ゴミをリサイクルループにより堆肥化し、ワタミファームの土壌を潤し、有機野菜となって戻ってくる循環型社会の取り組みを本格的に稼働させています。



リユースの対象となっている日本酒ビン

エコ・ファースト テーマ3 社員行動でのCO₂削減

活動内容(5)

「エコ夢サイト」の開設

社員一人ひとりが生活をするうえで環境を意識していくことが、明日の地球を変えていくことにつながると考えています。社員の環境意識が向上することによって、周囲の家族や友人にも良い影響を及ぼしていくと考えています。

そこで、W-ECOビジョン2020では、具体的な目標として、社員の生活におけるCO₂排出量を2020年度までに30%削減(2008年度比)することを設定しました。この目標を達成するため、2010年度から「エコ夢カード」を国内グループの全従業員に配布し、日々の生活でのCO₂排出量(電気、ガス、ガソリン)を記録、一人ひとりが具体的に活動目標を設定できることを目指しています。

2010年には、環境家計簿の入力サイト「エコ夢サイト」を開設しました。登録率は100%、入力率は約40%となっています。



エコ夢サイト

活動内容(6)

エコ・ファースト表彰

「エコ夢サイト」に入力されたデータをもとに、2011年3月の全体会議にて「エコ・ファースト表彰」を行いました。これは、他の模範となるような取り組みを行った外食店舗、介護施設、社員を表彰する制度です。2010年度は、CO₂と電気料金を約20%削減した外食店舗、電力量削減に全従業員で徹底して取り組んだ介護施設、家族でCO₂排出量削減に取り組んだ社員を表彰しました。

活動内容(7)

本社での取り組み

2010年6月、ワタミ本社全館にキャノピースイッチを導入しました。また、「大鳥居本社環境負荷低減&コスト削減プロジェクト2010」と称し、紙削減や使用しない照明の消灯に取り組みました。

複合機の削減、本社全従業員を対象とした講習会の開催、フロアごとに目標と実績を報告するなどの活動の結果、2010年11月以降、毎月20万枚以上の紙の削減(2010年6月比)と、2010年7月~2011年3月で平均18.9%の電気使用量(電灯)の削減(2010年4月~6月平均比)を達成することができました。

今後も、従業員の環境意識の向上を目指し、取り組みを継続してまいります。

エコ・ファースト テーマ4 環境保全活動の応援

活動内容(8)

「昼も。夜も。節電ライトダウン2011」に参加

ワタミグループは、2008年以降、環境省主催の「ブラックイルミネーションキャンペーン」に毎年参加しています。2011年度は、環境省がライトアップ施設の消灯を呼びかけている「昼も。夜も。節電ライトダウン2011」の主旨に賛同し、以下の期間において節電とライトダウンを行いました。

- 6月22日から8月31日の期間中に国内の全外食店舗でエアコン設定温度を、昨年の夏場の設定温度に対してプラス1℃に設定。
- 6月22日(水)・7月7日(木)の夜8時~10時の間、国内の全外食店舗の看板を消灯。(一部、消灯ができない外食店舗をのぞく)
- 6月22日(水)・7月7日(木)の夜7時~9時の間、介護施設の外灯看板を消灯。(外灯看板がない場合には、駐車場・玄関などの照明を消灯)

活動内容(9)

「カーボンオフセット付きカクテル」の販売

WFSは、2009年9月より「カーボンオフセット付きカクテル」を販売しています。2010年4月からは、炭火焼だいにんく「わたみん家」でも販売を開始し、国内約600店舗に販売を拡大しています。

「カーボンオフセット付きカクテル」は、販売数に応じて「カーボン・オフセット」やNPO法人への寄附をさせていただくカクテルです。このカクテルの売上げの一部により国内のCO₂削減プロジェクトを支援することになります。

2010年度は、184,539杯を販売し、184tのカーボンオフセットを実施しました。

ワタミグループは応援します。「Return to Forest Life」の支援

ワタミグループは、NPO法人 Return to Forest Life を支援しています。

現在、ほぼ全社員が会員となり、活動を強化しています。2011年4月からは専任者を配置、新たにWEBサイトを開設しました。

下半期からは、千葉県以外の地域での森林保全活動を予定しています。また、2012年度には森面積の拡大を予定しており、2020年度5,000haを目標としています。(活動内容はP52・53でご紹介しています。)